

支部長	局長	部長	課長	副課長	主査	係員	決裁年月日
-----	----	----	----	-----	----	----	-------

以下のとおり貸付決定してよろしいか伺います。

借入申込書

							組合員番号	
普通貸付			特別貸付				<input type="checkbox"/> 住宅貸付	<input type="checkbox"/> 特別住宅貸付
<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 物資	<input type="checkbox"/> 特認	<input type="checkbox"/> 教育	<input type="checkbox"/> 結婚	<input type="checkbox"/> 医療	<input type="checkbox"/> 葬祭		
申込金額						円	団信加入 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない	
申込理由							<input type="checkbox"/> 宿舍明渡	
弁済方法及び 弁済指定	<input type="checkbox"/> 元金均等 <input type="checkbox"/> 元利均等 <input type="checkbox"/> 元金均等期末手当等併用 <input type="checkbox"/> 元利均等期末手当等併用							
	令和 年 月 から 令和 年 月 まで 月							
<input type="checkbox"/> 回数指定	毎月弁済分						円× 回 ・ 最終回	円
<input type="checkbox"/> 金額指定	期末手当等弁済分(6月及び12月)						円× 回 ・ 最終回	円
再任用常勤職員等		<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当						
申込時 月収額	級・号俸	() 級 号俸		既貸付 残額 (申込時 の残額を すべて記 入すること)	普通(一般)	円		
	俸給(俸給の調整額含む)	円			普通(物資)	円		
	俸給の特別調整額	円			普通(特認)	円		
	初任給調整手当	円			特別(教育)	円		
	扶養手当	円			特別(結婚)	円		
	研究員調整手当	円			特別(医療)	円		
	地域手当	円			特別(葬祭)	円		
	合計	円			特別(災害)	円		
月収額の 倍の額	円		住宅	円				
月収額の 倍の額	円		特別住宅	円				
月収額の 倍の額	円		合計	円				
				借入希望年月日	令和 年 月 日			
文部科学省共済組合貸付規程に基づき、貸付を申し込みます。 なお、貸付決定の上は、下記振込口座に振込を依頼します。								
文部科学省共済組合				令和 年 月 日				
大分大学支部長 殿				[借受人] 所属 フリガナ 氏名 印				
振込口座(本人名義口座に限る)								
金融機関名	支店名	預金種目	口座番号					
		(普通・当座)						

(担当者記入欄)

組合加入年月	S・H・R	年 月	組合員期間	年 月	退職予定年月	年 月
貸付事由に係る残額	円		普通・特別の合計残額	円		
退職手当 相当額	円	5年間分の弁済 元金の合計額	円	貸付限度額	円	
貸付 利率	%	貸付年月日	令和 年 月 日	貸付決定額	円	

- (注) 1. 借受人本人が直筆で記入し、この申込書と借用証書に押印する印は同一のものとすること。
2. 該当する区分に△点を付すること。
3. 申込金額は右づめで記入し、頭部に「¥」マークを付すること。
備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

共済貸付金借入申込書記入要領

1 申込事由欄及び申込額の記入について

- (1) 貸付申込事由に対応する事由にレ点を付すこと。
- (2) 申込金額は右づめで正確に記入し頭部に「¥」マークを付すこと。

2 貸付事由ごとの記載事項の記入について

○普通貸付 各々の申込理由を記入すること。

○特別貸付

(1)結婚を事由とする場合

- ①組合員が結婚する場合——結婚予定日を記入すること。
- ②組合員以外が結婚する場合——結婚しようとする者の氏名及び組合員との続柄、婚約者の氏名、性別、年齢及び住所を記入すること。

(2)教育を事由とする場合——入学又は修学する者との続柄、入学又は修学する者の氏名、年齢、学校名等を記入すること

(3)災害を事由とする場合——申込理由を記入すること。

(4)医療及び葬祭を事由とする場合——各々の申込理由を記入すること。

○住宅貸付 各々の申込理由を記入すること。

3 添付書類について

○普通貸付

(1)物資を事由とする場合の必要書類——購入しようとする物資の正式な見積書 (単品で10万円以上の家具等耐久消費財の物資に限る。)

(2)特認を事由とする場合の必要書類——以下を確認できる書類 (見積書等)

- ①組合員の転居に伴う引越及び退去に要する費用
- ②組合員の1月以上の海外出張等に要する費用

○特別貸付

(1)結婚を事由とする場合の必要書類——住民票又は結婚式若しくは披露宴の案内状若しくは婚姻の事実を証するに足る書類 及び見積書等金額が確認できる書類

(2)教育を事由とする場合の必要書類——合格通知書の写し、在学証明書及び必要とする金額が確認できる書類

(3)災害を事由とする場合の必要書類——罹災証明書の写し又は事故証明書の写し及び金額が確認できる書類

(4)医療を事由とする場合の必要書類——医師の診断書若しくは処方箋の写し等及び金額が確認できる書類

(5)葬祭を事由とする場合の必要書類——埋火葬許可書の写し及び見積書等金額が確認できる書類

・結婚、教育、医療、葬祭を事由とする貸付けを受ける場合に組合員の被扶養者でない者の時は戸籍抄本等続柄を証明する書類

○住宅貸付

(1)住宅を新築する場合の必要書類

- ①工事費等見積書の写し、工事契約書の写し、住宅の平面図、確認済証の写し
- ②住宅を新築するが土地購入を伴わない場合、新築に係る土地所有者を確認するためその土地の登記事項証明書(借受人名義(共有含む)の場合に限る。)、土地所有者の承諾書または借地契約書の写し等

(2)住宅、土地又は住宅及び土地(以下「住宅等」)を購入する場合の必要書類

- ①売買契約書の写し、登記事項証明書、住宅の平面図(土地のみを購入する場合を除く。)
- ②土地のみの購入の場合で、建築確認を受けている場合は、確認済証の写し
5年以内に住宅を建築する旨の誓約書(土地のみの購入の場合に限る。)
- ③購入物件が住宅である場合は敷地の登記事項証明書及び地主の承諾書または借地契約書の写し等

(3)住宅の増改築又は修繕をしようとする場合の必要書類

- ①工事費等見積書の写し、工事契約書の写し、住宅の平面図及び土地所有者の承諾書の写し等
- ②増改築又は修繕の前後でその登記内容に変更がある場合は、工事前の登記事項証明書

(4)住宅等を借り入れようとする場合の必要書類

- 賃貸契約書の写し、住宅の平面図(土地のみを借り入れる場合を除く。)、5年以内に住宅を建築する旨の誓約書(土地のみを借り入れる場合に限る。)、土地のみを借り入れる場合で建築確認を受けている場合は、確認済証の写し

上記の書類のほかに実情に応じて、支部長が特に必要と認めた書類

4 事後確認書類について

○普通貸付

(1)物資・特認を事由とした場合——当該支払いに係る領収書

○特別貸付(全事由の貸付)——当該支払いに係る領収書

○住宅貸付

(1)住宅等を取得した場合——登記事項証明書等、当該支払いに係る領収書

住宅を建築したことを証する書類(土地のみを取得した後に住宅を建築した場合に限る)

(2)住宅の増改築又は修繕した場合——工事完了報告書、当該支払いに係る領収書

増改築又は修繕の前後でその登記内容に変更がある場合は、工事後の登記事項証明書

(3)住宅等を借り入れた場合——借入の事実を証するに足る書類

上記の書類のほかに実情に応じて、支部長が特に必要と認めた書類

支部長	局長	部長	課長	副課長	主任	係員	決起年月日
-----	----	----	----	-----	----	----	-------

以下のとおり貸付決定してよろしいか伺います。

借入申込書

組合員番号		[印]	
<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 物資 <input type="checkbox"/> 特種 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> 結婚 <input type="checkbox"/> 医療 <input type="checkbox"/> 葬祭 <input type="checkbox"/> 災害		<input type="checkbox"/> 住宅貸付 <input type="checkbox"/> 特別住宅貸付	
申込金額	¥	[印]	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない
申込理由	[印]		
返済方法 及び 返済予定	<input type="checkbox"/> 元金均等 <input type="checkbox"/> 元利均等 <input type="checkbox"/> 元金均等期末手当等併用 <input type="checkbox"/> 元利均等期末手当等併用 平成 年 月 から 平成 年 月 まで 回		
<input type="checkbox"/> 回数指定	毎月返済分	円 × 回	最終回 円
<input type="checkbox"/> 金額指定	期末手当等返済分(6月及び12月)	円 × 回	最終回 円
再任用常勤職員等	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当		
申込時月収額	被・専任	円	普通(一般)
	休給(休職期間中の給与)	円	普通(物資)
	休給の特別調整額	円	普通(特種)
	初任給調整手当	円	特別(教育)
	扶養手当	円	特別(結婚)
	研究員調整手当	円	特別(医療)
	通夜手当	円	特別(葬祭)
合計		円	特別(災害)
月収額の倍の額	円		住宅
月収額の倍の額	円		特別住宅
月収額の倍の額	円		合計
月収額の倍の額	円	借入希望年月日	平成 年 月 日
文部科学省共済組合貸付規程に基づき、貸付を申し込みます。 なお、貸付決定の上は、下記振込口座に振込を依頼します。			
文部科学省共済組合		平成 年 月 日	
大分大学支部長 殿		【借受人】	
		所属 [印]	
		フリガナ [印]	
		氏名 [印]	
振込口座(本人名義口座に限る)			
金融機関名	支店名	預金種目	口座番号
[印]	[印]	[印]	[印]

(担当者記入欄)			
組合加入年月	S-H	年 月	組合員期間
年 月		年 月	退職予定年月
年 月		年 月	
貸付事由に係る種類	円 普通・特別の合計残額		
退職手当 相当額	円	5年間の返済 元金の合計額	円
貸付利率	%	貸付年月日	平成 年 月 日
			貸付決定額
			円

印) 1. 借受人本人が直筆で記入し、この申込書と併用して押印する印は同一のものとする。
 2. 該当する部分にのみ印を付すること。
 3. 申込金額は右の枠で記入し、欄頭に「¥」マークを付すること。
 備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

**印鑑はシャチハタ不可
また、住宅貸付の際は、契約書等と同一の印鑑とすること。**

借用証書

借入金額		¥	[印]
貸付事由 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 物資 <input type="checkbox"/> 特種 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> 結婚 <input type="checkbox"/> 医療 <input type="checkbox"/> 葬祭 <input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> 住宅貸付 <input type="checkbox"/> 特別住宅貸付		
元金を平成 年 月 から平成 年 月 までに返済する。			
返済方法 <input type="checkbox"/> 元金均等 <input type="checkbox"/> 元利均等 <input type="checkbox"/> 元金均等期末手当等併用 <input type="checkbox"/> 元利均等期末手当等併用			
貸付利率 (年利率) %			
貸付利率 普通4.26% 特別1.16% 住宅1.33%			
上記金額を文部科学省共済組合貸付規程及び次の事項を承知の上借りました。			
1. 規程の改正があった場合は、これに従うこと。 2. 組合員資格を喪失したときは、返済期間にかかわらず、直ちに貸付金の残額及び利息を一括返済すること。 3. 返済期限又は上記3の時点において、返済が行われない場合は、報酬その他の給与(国家公務員退職手当法(昭和28年法律第182号)に基づく退職手当(これに相当する手当を含む))又は給付金を返済に充てること。 4. 文部科学省共済組合貸付規程に違反したときは、遅滞なく、貸付金の残額及び利息を返済すること。			
平成 年 月 日			
文部科学省共済組合		大分大学支部長 殿	
		【借受人】	
		所属 [印]	
		氏名 [印]	

印) 1. 本証書は、借受人本人が直筆で記入し、この借用証書と併用して押印する印は同一のものとする。
 2. 借入金額は右の枠で記入し、欄頭に「¥」マークを付すること。
 3. 貸付種類及び事由・貸付条件欄は、該当するものに印を付すること。
 備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

借用証書

借入金額										円
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

貸付 種類 事由	普通貸付	特別貸付	<input type="checkbox"/> 住宅貸付	<input type="checkbox"/> 特別住宅 貸付
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 物資 <input type="checkbox"/> 特認	<input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> 結婚 <input type="checkbox"/> 医療 <input type="checkbox"/> 葬祭 <input type="checkbox"/> 災害		
貸付 条件	元金を令和 年 月から令和 年 月までに弁済する。			
	弁済方法 (<input type="checkbox"/> 元金均等 <input type="checkbox"/> 元利均等 <input type="checkbox"/> 元金均等期末手当等併用 <input type="checkbox"/> 元利均等期末手当等併用)			
	貸付利率 (年利率) %			

上記金額を文部科学省共済組合貸付規程及び次の事項を承知の上借用しました。

- 規則の改正があった場合は、これに従うこと。
- 組合員資格を喪失したときは、弁済期間にかかわらず、直ちに貸付金の残額及び利息を一括弁済すること。
- 弁済期限又は上記2の時点において、弁済が行われない場合は、報酬その他の給与（国家公務員退職手当法（昭和28年法律第182号）に基づく退職手当（これに相当する手当を含む））又は給付金を弁済に充てること。
- 文部科学省共済組合貸付規程に違反したときは、遅滞なく、貸付金の残額及び利息を弁済すること。

令和 年 月 日

文部科学省共済組合

大分大学支部長 殿

[借受人]

所 属

氏 名

印

- (注)1. 本証書は、借受人本人が直筆で記入し、この借用証書と借入申込書に押印する印は同一のものとすること。
2. 借入金額は右づめで記入し、頭部に「¥」マークを付すること。
3. 貸付種類及び事由・貸付条件欄は、該当するものに点をつけてのこと。
備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

貸付実情調書

この調書は、貸付規程第10条に基づき、実情を調査し、貸付資金の状況を考慮したうえ、貸付の決定を行うため、また、近年増加している貸付保険事故の発生を未然に防止するために記入していただくものです。

なお、記入していただきました個人情報については、貸付事業の目的のみに使用し、他の目的には使用いたしません。

1. 貸付事由ごとの記載事項に間違いはありませんか？ (どちらかに○)
はい ・ いいえ
2. 申込金額は、貸付事由ごとの使途目的に相違ありませんか？ (どちらかに○)
はい ・ いいえ

3. 他からの借り入れ状況
文部科学省共済組合以外からの借入金の有無 (どちらかに○) 有 ・ 無

・有の場合

住宅貸付に係る貸付 _____ 円

住宅以外の貸付 (カードローンを含む) _____ 円

4. 弁済能力の確認

今回の申込を含めた全ての借り入れに対する月々の返済金は、自己の弁済能力*を超えたものとなっていませんか？ (どちらかに○) はい ・ いいえ

*他の全ての借入を含む年間返済額を総年収の35%以内かつ月額返済を月収の20%が目安

・他からの借入に係る弁済額

毎 月 _____ 円

期末手当 _____ 円

・いいえの場合

今後の弁済計画

5. 貸付申込時点で、破産等 (民事再生を含む) の申立について弁護士又は司法書士に手を委任していませんか？ (どちらかに○) はい ・ いいえ

*自らが申し立てた場合及び今後予定している場合を含む

(申立て)

令和 年 月 日

組合員氏名 _____ 印

(署名・押印)

貸付実情調書

この調書は、貸付規程第10条に基づき、実情を調査し、貸付資金の状況を考慮したうえ、貸付の決定を行うため、また、近年増加している貸付保険事故の発生を未然に防止するために記入していただくものです。

なお、記入していただきました個人情報については、貸付事業の目的のみに使用し、他の目的には使用いたしません。

1. 貸付事由ごとの記載事項に間違いはありませんか？ (どちらかに○)
 はい ・ いいえ
2. 申込金額は、貸付事由ごとの使途目的に相違ありませんか？ (どちらかに○)
 はい ・ いいえ
3. 他からの借り入れ状況
文部科学省共済組合以外からの借入金の有無 (どちらかに○) 有 ・ 無

・有の場合

住宅貸付に係る貸付 8,500,000 円

住宅以外の貸付 (カードローンを含む) 450,000 円

4. 弁済能力の確認

今回の申込を含めた全ての借り入れに対する月々の返済金は、自己の弁済能力*を超えたものになっていませんか？ (どちらかに○) はい ・ いいえ

*他の全ての借入を含む年間返済額を総年収の35%以内かつ月額返済を月収の20%が目安

・他からの借入に係る弁済額

毎月 20,000 円

期末手当 0 円

・いいえの場合

今後の弁済計画

5. 貸付申込時点で、破産等 (民事再生を含む) の申立について弁護士又は司法書士に手を委任していませんか？ (どちらかに○) はい ・ いいえ

*自らが申し立てた場合及び今後予定している場合を含む

(申立て)

本調査の記載内容に偽りはありません。 (自筆)

必ず自筆で記載のこと

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

組合員氏名 文部太郎 文部 印

(署名・押印)

